

令和7年度事業報告

愛の浜園

1. 令和7年度を通して重点的に取り組む事業

(1) 職員確保の取り組み

令和7年度はインドネシアから特定技能生2名を雇用しました。8月に面接し12月には入職予定で準備しましたが、令和8年3月からの入職となりました。奄美看護福祉専門学校をはじめハローワーク、求人サイト（マイダス、レバウエル）や就職転職応援フェア等に積極的に参加し求人に取り組みましたが、まだ成果が出ていない状況です。今後とも新たな職員を確保できるように積極的に取り組み、本園を知っていただく機会を増やし、一人でも多くの新規採用に繋がるよう取り組みます。単発のアルバイト求人サイト「シェアフル」では、延べ12名の方に約90回来ていただき不足した給食職員や生活支援員を短時間ですが確保ができ、雇用に繋がったケースもありました。

(2) 障害者雇用の推進と職場環境の整備（中長期計画：重点戦略テーマ1、2）

社会福祉法人慈愛会は、令和2年度に「もにす認定（障害者雇用中小企業主認定）」を受けておりますので、本園においては、障害者雇用に積極的に進めて行く必要があるとの考えのもと、令和7年度は、あまみ障害者就業・生活支援センターと連携し、新規にパート職員1名を雇用し、現在5名（常勤1名、短時間勤務4名）となっております。障害者雇用の推進することで職場全体の環境を改善し、障害者以外の職員もより働きやすい職場環境整備に努めました。

(3) 短期入所ニーズへの対応（中長期計画：重点戦略テーマ3）

奄美市内唯一の障害者支援施設として、ご家族の急病等により、突発的に短期入所の要請があった場合等、ご家族の必要に応じて利用できるよう受入をいたしました。今後とも短期入所の充実を図りながら将来の入所のお客様に繋がればと考えています。

(4) グループホーム再建に伴う新たな拠点の整備（中長期計画：重点戦略テーマ4）

令和7年3月に奄美病院との複合施設「結浜ビル」が完成し、4月からその1階が新たなグループホーム「フレンド3」としてスタートしました。

新施設での生活は、ご利用者にとっては慣れない環境での生活となるため、愛の浜園と離れた環境での生活に不安を感じさせないよう、これまで以上に、グループホームの職員で密に情報を共有し、必要に応じて奄美病院との連携をしました。また、情報共有に必要な新たな障害福祉システム「ほのぼの more」を使うことで、離れた事業所間も情報共有が可能となったことで、ご利用者へはスピーディで質の高いサービスを提供することができました。

(5) 社会福祉法人としての社会貢献活動の取り組み

本園では、地域支え合い体制づくり協議体と連携して、要望のあった根瀬部町内会と覚書を交し、令和5年10月から月2回土曜日に買物支援を試験的に実施し、令和6年1月から本格に実施し、令和7年度も継続して実施しました。毎回2人の利用があり大変好評をいただいております。

2. 各事業所の取り組み

(1) 施設入所支援（定員 40 名）

施設入所支援では、利用者の要望や健康面を配慮した個別支援計画を作成し、利用者本人やご家族のニーズや目標が達成できるよう、日中に利用する事業所とも連携を図りながら取り組んでまいりました。また、利用者一人ひとりに対応できるよう施設内の環境整備、職員のスキルアップを図るとともに、必要に応じて外部講師の依頼など、業務に関する研修を充実させ、利用者の方々が、安全安心で快適な環境で生活できるようにサービスを提供してまいりました。

同時に、入所者の高齢化と重度化が進み、医療的なケアが必要なケースが増加しており、奄美病院等の関係機関との連携を図りながら、介護サービスへの移行に向けた取り組みも行いました。（令和 7 年度中に介護サービス等への移行により退所 5 名。）

※重度障害者支援加算を取得し平均単価を 2,920 円/日アップすることができました。

- ・令和 8 年 3 月末現在 利用者数 39 名 男性棟 20 名 女性棟 19 名（期中平均 36.7 名）
 - ・令和 8 年 3 月末 利用者 1 人当たりの平均単価 10,771 円/日(昨年比+2,920 円)
 - ・令和 7 年 3 月末 ” 7,851 円/日
- 2024 年度 WAM 平均単価 8,282 円/日(+2,489 円)

(2) 生活介護（定員 52 名）

利用者の年齢や障害特性、ニーズにマッチした活動を行う為、それぞれ個別計画、個別目標を設定し支援しました。活動内容においては、班別作業、クラブ活動、レクリエーション、愛の浜園の年間行事および講師を招いた活動などを通じて、利用者の要望に対応できるよう努めました。また、個別支援計画では、外出支援や買い物支援を盛り込むことで、利用者を楽しみやすい時間を提供いたしました。※平均単価は昨年度比で▲1,022 円となりました。

- ・令和 8 年 3 月末現在 登録者数 54 名 男性 33 名 女性 21 名（期中平均 47.7 名）
 - ・令和 8 年 3 月末現在 利用者一人当たりの平均単価 12,606 円/日(昨年比▲1,022 円)
 - ・令和 7 年 3 月末現在 ” 13,628 円/日
- 2024 年度 WAM 平均単価 13,819 円/日(▲1,213 円/日)

(3) 就労継続支援 B 型（定員 18 名）

職員の持つ様々なスキルを活用して新たな手工芸品などを、利用者ごとに作業内容を工夫しながら共同で取り組み、また市役所の周年記念事業に参加するなど、本園の特色ある就労事業を紹介することができました。

また、引き続き実施している大島地区衛生組合からの受託事業だけではなく、大島紬を使った手工芸品の販売や機密文書廃棄作業（シュレッダー作業）を実施することができたことで、令和 7 年度目標工賃月額を達成することができました。※平均単価は昨年比で+251 円となりました。

※令和 7 年度 平均工賃月額 約 38,000 円（目標工賃月額 36,800 円）

- ・令和 8 年 3 月現在 登録者数 16 名 男性 5 名 女性 11 名
 - ・令和 8 年 3 月末現在 利用者一人当たりの平均単価 11,134 円/日(昨年比+251 円)
 - ・令和 7 年 3 月末現在 ” 10,883 円/日
- 2024 年度 WAM 平均単価 9,164 円/日(+1,970 円/日)

(4) 短期入所（定員 4 名）

奄美市唯一の障害者支援施設として、利用者およびご家族のニーズに対応できるよう努めました。また、利用を希望するご家族の負担軽減や、緊急時に安心して利用できるよう相談支援事業所と連携を図り、日程の調整等を行い受け入れることができました。（期中平均 3.6 名）

・令和 8 年 3 月末現在	利用者一人当たりの平均単価	7,097 円/日(昨年比▲1,017 円)
・令和 7 年 3 月末現在	〃	8,114 円/日
2024 年度 WAM 平均単価		10,642 円/日(▲3,545 円/日)

(5) 日中一時支援

日中一時支援では、市町村や相談支援事業所と連携して、障害者のご家族の利用しやすいサービスに繋がるよう調整しながら支援に取り組むことができました。（利用者数延べ 195 名）

・令和 8 年 3 月末現在	利用者一人当たりの平均単価	4,239 円/日(昨年比+592 円)
・令和 7 年 3 月末現在	〃	3,647 円/日

(6) 共同生活援助事業 グループホームフレンド（定員 22 名）

令和 7 年 4 月スタートした複合施設結浜ビルの「フレンド 3」は、本園とは少し離れた場所に位置することから、この共同生活の場においても他の「フレンド」と同様に、食事の提供、相談その他日常生活の援助を行う事で自立した生活が送れるように支援しました。

利用者の日常生活の援助、健康面、情緒面については、担当世話人、支援員、相談員および看護師だけでなく、奄美病院などと連携を図りながら支援することができました。

感染症リスクが低減している時期に、余暇支援、外出支援および地域行事への積極的な参加により、地域の一員としての自覚を持って生活出来るように支援する等、利用者個々に応じた支援計画に沿って、生活力を向上させる事が出来るように支援しました。

※令和 8 年 3 月末現在 利用者数 21 名 男性 12 名 女性 9 名

令和 8 年 3 月末現在 利用者 1 人当たりの平均単価 8,727 円/日（昨年比+651 円）

令和 7 年 3 月末現在 利用者 1 人当たりの平均単価 8,076 円/日

2024 年度 WAM 平均 10,557 円/日（▲1,830 円/日）

(7) 給食

令和 7 年度から食材調理済みの完全調理品を取り入れ、栄養基準に沿った献立を作成し、食事の提供をしました。また、利用者の体調に合わせ、おかゆや刻み食などを提供したり、お正月やひなまつり等の季節や行事に合わせたメニューを取り入れるなど、毎日の食事が楽しみになるよう献立に工夫しております。献立表は食堂や園内に掲示し、利用者のご家族には献立表をホームページで閲覧できるように毎月掲示しております。

給食会議を毎月実施し、利用者の健康管理、業務の改善に努めることができました。

衛生管理の面や、食事準備の効率化による業務負担の軽減を図るため「温冷配膳車」を導入しました。インフルエンザ等感染症流行の時期には各棟での食事がスムーズにできたことでも温冷配膳車の効果がみられました。

(8) 相談支援事業所「ていだ」

相談支援専門員 3 名で利用者の困り事や希望する生活に真摯に向き合い、市町村や各福祉サービス事業所と連携を図りながら、利用計画を作成しました。また、自立支援協議会の定例会や相

談部会、その他の部会に積極的に参加し、地域の課題やニーズを把握し相談員の個々のスキルアップを図ることができました。

機能強化会議の協定を組み、月に数回、他の相談事業所と連携会議を行い利用者のよりよい生活に繋げ、新規利用者の獲得に努めました。

令和8年3月末時点 相談利用者 216名

3. 年間行事実績及び研修実績

(1) 年間行事及び研修

月	行 事	職員研修・会議等
4	・ 婦人科検診 ・ 旧桃の節句行事	
5	・ 開園記念日 ・ 総合防災訓練 ・ 県障害者スポーツ大会	・ 虐待防止、身体拘束適正化の研修
6	・ 遠足 ・ 町内敬老会 ・ 家族会総会	
7	・ 夏に親しむ行事	・ 慈愛会学会学術集会
8	・ 夕涼み会	
9	・ 町内豊年相撲見学 ・ 園内敬老会	・ モニタリング・個別支援計画書作成
10	・ 知根小学校運動会 ・ 愛の浜園 運動会	
11	・ 大島地区ゆうあいスポーツ大会 ・ 知根小学校学習発表会 ・ 感謝祭	・ 法人合同研究発表会 ・ BCP 研修会
12	・ クリスマス忘年会 ・ 一泊旅行	
1	・ 合同年の祝い	・ 事業計画、予算策定 ・ 感染症及び食中毒予防研修会
2	・ 花見遠足 ・ 総合防災訓練	・ 障害者施設合同研修会
3		・ モニタリング・個別支援計画書作成
その他	(年1回) ※レジオネラ属菌検査 年2回(夏、冬) ※害虫駆除 ※総合防災訓練	(月1回) ・ 運営委員会・ケース検討会議 ・ 給食会議 ・ 施設入所、生活介護会議・事務会議 ・ フレンド(グループホーム)会議 ・ 就労会議 ・ 自治会(施設入所、グループホーム) ・ 衛生管理委員会 (半年ごと) ・ 身体拘束廃止委員会・地域連携推進会議 ・ モニタリング話し合い・個別支援計画協議 (適宜) ・ 人権擁護委員会 ・ 虐待防止委員会 ・ 感染症対策委員会 ・ 新任職員研修会

職員研修 障害福祉施設向けオンライン研修サービス「シエンシー」を導入

(2) 医務関係

- ・利用者の高齢化に伴い、健康維持・増進や疾病予防を目的とした早期発見及び早期治療に努め、引き続き、訪問歯科診療を継続的に活用し、健康管理に不可欠な口腔ケアの強化、虫歯治療や入れ歯の作製・修理が園内で実施できるよう取り組みました。
- ・新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどの感染症対策をその都度実施して、職員間で感染状況を共有するとともに、感染対策について検討し拡大防止に努めました。年末から新型コロナとインフルエンザ感染症や風邪等の流行がありサービス提供を制限せざるを得ない状況がありました。
- ・必要に応じて嘱託医やかかりつけ医との連携を図り、利用者の健康管理を支援しました。

(3) 年間実績

月	内 容
4	身体測定、相良病院巡回検診車による乳がん検診（利用者、職員対象）
5	奄美市ミニ人間ドック申込み、歯科検診、血中濃度測定（対象者のみ）
6	奄美市婦人科検診（子宮がん、骨粗鬆症）、保険証の切り替え（国保、後期高齢者）
7	定期健康診断（利用者）、結核検診、定期健康診断、腰痛健康診断（職員）
8	奄美市ミニ人間ドック（腹部超音波、胃がん、大腸がん、前立腺検査）、害虫駆除
1 1	インフルエンザ予防接種（利用者・職員）、脳波検査（対象者のみ）
1 2	水質（レジオネラ属菌）検査、害虫駆除
1	夜勤者健康診断・腰痛健康診断（職員）
2	定期健康診断（利用者）
その他 取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・健康相談（奄美病院）：毎月 1 回 ・衛生管理委員会：毎月 1 回 ・体重・血圧測定：毎月 1 回 ・体温測定：起床時 ・感染症予防対策委員会（感染症情報共有、感染予防対策） ・訪問歯科診療：週 2 回（虫歯の治療・義歯の修理・口腔ケア） ・重度心身障害者申請書提出

4. 施設管理・設備投資

主な設備投資実績

- ・スプリンクラー（フレンド 1・2・4）・・・ 8,580,000 円
- ・自動火災通報装置（ 同上 ）・・・ 8,030,000 円
- ・屋根防水工事（4 ヲ年計画 2 年目）・・・ 6,930,000 円（令和 7 年度分）
- ・敷地内排水溝敷設工事・・・ 9,350,000 円
- ・敷地内通路舗装改修及び電気室前排水工事・・・ 6,300,000 円
- ・自動ドア改修工事・・・ 1,155,000 円
- ・LED 照明リニューアル工事・・・ 3,659,700 円
- ・温冷配膳車（2 台）・・・ 2,992,000 円

5. 災害対策

<施設>

今年度は前年度より取り組んでいる BCP への取り組みも更に強化し、様々な場面を想定した訓練を実施しました。

- ・火災、地震、津波、風水害、不審者対策などを想定した防災訓練を毎月実施しました。

年2回の総合防災訓練（うち1回は消防署立会、1回は通報訓練）を行いました。

<フレンド>

- ・フレンド1,2への自動火災報知設備の設置と補修を行い、同時にフレンド1,2,4のスプリンクラーを設置しました（消防による指導あり）。

<福祉避難所>

- ・奄美では、毎年のように避難が必要な台風が襲来しています。障害者やその家族にとって、一般避難所は、設備が整わず使いにくいだけでなく、他の避難者への遠慮もあり、安心して過ごす事ができないケースもあります。令和7年度は愛の浜園の避難所を利用する人はいませんでしたが、本園としては、福祉施設としての設備や専門性を活用し、奄美市との福祉避難所協定を更新いたしました。

6. 地域社会との連携（中長期計画：重点戦略テーマ5）

- ・障害者支援施設である本園は、地域の重要な社会資源であると同時に、地域の皆様の協力なしには、運営が困難な施設でもあります。このような基本方針のもと、感染症予防にも行いながら、施設の開放、地域住民やご家族も参加する園内行事の開催、地域行事への参加等により、地域住民との良好な関係を構築し、地域共生社会の実現に努めました。
- ・地元の小学校との交流（学習発表会や運動会への参加、職員による楽器演奏指導、施設見学の受入れ等）を実施しました。
- ・奄美看護福祉専門学校及び大島特別支援学校の実習生を積極的に受け入れ、良好な関係構築によって、本園への新卒入職や、将来の施設利用に繋がる連携を密にして取り組みました。
- ・高齢者及び地域との交流（地域行事や町内清掃への参加）に取り組みました。
- ・地域との交流（地域の豊年祭、敬老会、グラウンドゴルフ大会等）に参加しました。

7. 苦情解決

利用者やご家族からのサービスに関する相談および苦情に関しては、その内容を正確に把握したうえで、誠意をもって丁寧に対応しました。

また、施設入所・生活介護の自治会、グループホームの自治会や日常生活の中での意見につきましては、苦情、相談、要望等に整理した上で、対応方法を考え解決や要望に応えるように努めました。

8. 第2次中長期計画（4年目）

- (1) 障害者雇用の推進
- (2) 障害者が働ける場の整備提供
- (3) 短期入所ニーズへの対応
- (4) グループホームの将来構想の検討
- (5) 地域共生社会実現に向けた関係機関との協力体制の構築

9. 職員管理（職員体制）（令和8年3月現在）

職 種	人 数	業 務 内 容
管 理 者	1 名	業務・運営の統括
サービス管理責任者	3 名	各利用者の個別支援計画作成。サービス提供の確認。相談。支援員に技術的指導と助言
生活支援員	44 名	日常生活上の支援（食事・入浴、排泄）や相談
職業支援員	1 名	職業上の技術を習得させる訓練、援助。職場実習や就職活動に関する支援
看護師	4 名	医師の指示の下、利用者の健康管理全般
管理栄養士・栄養士	0 名	利用者の栄養管理全般（R7年度は合同会社佐助へ業務委託）
調理員	5 名	給食の調理等
事務員	4 名	庶務、経理、利用者の預り金に関する業務
世話人	5 名	食事の提供、健康管理、金銭の援助、生活上の相談
嘱託医	1 名	利用者の健康管理及び、療養上の指導
相談支援専門員	3 名	相談支援業務（相談・サービス等利用計画作成）

正職員：31名、契約職員：16名、パート職員：19名、シニア嘱託職員：4名 計70名

〈入職者〉 14名（正職員0名、契約職員7名、パート職員7名）

〈退職者〉 13名（正職員4名、契約職員4名、パート職員4名、シニア職員1名）

〈任用換え〉 契約職員⇒正職員7名、パート職員⇒契約職員1名、契約職員⇒パート職員1名
正職員⇒シニア職員1名

〈障害者雇用〉 生活支援員 契約職員1名（常勤） パート職員4名

〈有休休暇取得率〉 令和5年度 75.2%

令和6年度 63.3%

令和7年度 70.6%